

## 第 7 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 10 月 13 日 (木) 14:00~18:00

場 所 宝塚市商工会議所 第 1 会議室

出席者 (委員) 松本(誠)、奥西、川谷、村岡、岡田、加藤、佐々木、中川

浅見、伊藤、岡、酒井、谷田、土谷

(河川管理者) 田中、松本、前川、西村、合田

(県関係部局) 玉置

(事務局) 黒田、前田、植田、木本

内 容(協議結果)

### 1 流域対策の検討

伊藤委員からの遊水地候補地(公共用地、農業用地等)の説明、及び河川管理者からの遊水地、各戸貯留、浸透施設の概要等の説明を受け、協議した結果、次のことを確認した。

河川管理者は、伊藤委員案(遊水地)について、その方法と効果の可能性を検証(数値化)し、次々回の会議に提出する。

河川管理者は、上流武庫川「自然を活かした治水対策」検討委員会資料を、次回の会議に提出する。

河川管理者は、流域内の 7 市の雨水の各戸貯留、浸透柵の設置等の推進対策の状況を整理し、次々回の会議に提出する。

各戸貯留および雨水浸透策の効果についても、河川管理者は、武庫川でのモデルケースを設定し、治水効果の検証を行うなど、次々回の会議で議論できるよう準備する。

(主な意見)

- ・ まず、遊水地候補地を全て出してもらい、その上で、それをチェックしていくべきか。
- ・ 伊藤委員案の検証にあたっては、河川管理者と伊藤委員で個別に条件設定等について協議すべき。
- ・ まず、効果があるのか否かが先である。その上で、用地取得等具体の課題を検討することが大切。
- ・ 効果検討も、むやみやたらにやっているといいのかわからない。検討する要件を整理し、出して欲しい。
- ・ 河川管理者で効果を検証(数値化)し、流域委員会で可能性、妥当性を検討するのが原則。
- ・ 流域内 7 市における、浸透柵設置等の助成状況等について、調べて欲しい。

### 2 今後の日程(開催日時)

次回 (第 8 回) 10 月 25 日 (火) 17:00~

次々回(第 9 回) 11 月 2 日 (水) 17:30~